

事業計画書（案）

信州大学センター

1 全期間（5年）を通しての事業目的

令和2年度に開設された信州大学センターは、独立行政法人教職員支援機構の地域センターとして、長野県を中心とする中部地方の教員研修の高度化、体系化、組織化の実現に寄与することを目的に、信州大学大学院高度教職実践専攻（教職大学院）がその役割を担って事業を展開している。令和4年度には教員研修事業に特化した南信州キャンパスが開校される予定である。

令和3年度から7年度までの5年間に担う事業は、各学校がGIGAスクール構想に即して取り組むことになる新たな教職員研修と、少子・人口減少地域に共通する諸課題に対応した研修事業など、地域の実情にも柔軟に対応した研修事業の開発と運営・実施を行うことを予定している。

また、教育委員会等が主催する各種の教員研修の受講実績を信州大学教職大学院の履修単位に連携させるラーニングプログラムの研究開発を行い、長野県教育委員会をはじめとする地方公共団体の教育委員会との連携を通して、教員研修全般の質向上を図り、教員養成・研修の高度化を実質化することを目指している。

2 事業概要

当センターが計画する今後5年間の研修事業は、長野県教育委員会（学びの改革支援課）との協働事業と、長野県総合教育センターとの連携講座に加え、信州大学センター独自の研修事業に大別されるが、以下のすべての講座を5年間継続実施してその成果を検証する予定である。

（1）長野県教育委員会との協働事業

- ◆中核教員養成研修…（令和2年度より実施）
- ◆小学校外国語指導者養成研修…（令和2年度より実施）
- ◆マイスター教員研修…（令和3年度より実施予定）

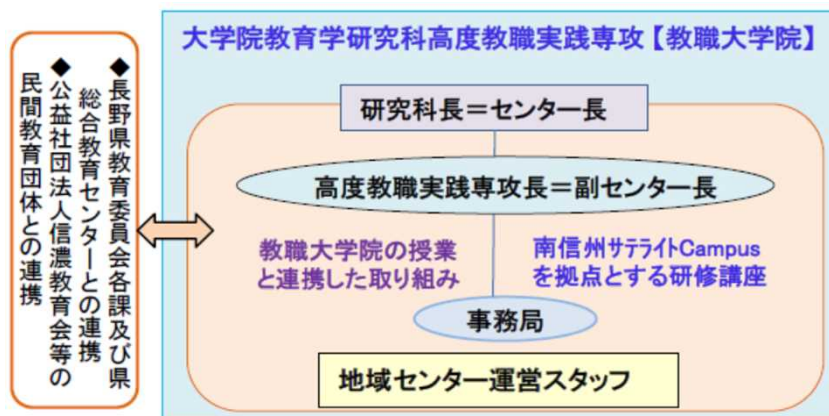
（2）長野県総合教育センターとの連携講座＜既存の連携講座を本事業に取り込む＞

- ◆総合的な学習の時間のマネジメント～信州教育の原点から今を求めて～…（平成30年度より実施）
- ◆学校づくり・学級づくり～チーム学校と新たな学級経営～…（平成30年度より実施）
- ◆へき地・小規模校の教育実践～個別最適化を実現する授業づくり～…（平成30年度より実施）
- ◆長野県義務教育校長研修における「リーダーシップ論」の特別講座…（平成30年度より実施）

（3）信州大学センター独自の研修事業

- ◆「子どもたちが通いたくなる学校とは」（オンライン連続セミナー）…（令和2年度より実施）
- ◆国際理解教育指導者養成講座（令和3年度より実施予定）
- ◆「自由進度学習の授業づくり」（令和3年度より実施予定）
- ◆コミュニティ・スクールのコーディネーター養成講座（令和3年度より実施予定）

3 事業実施体制



*当センターは、信州大学大学院教育学研究科長をセンター長とし、副センター長を兼ねる教職大学院の専攻長ほか講座も担当する教職大学院の4名の専任教員と非常勤の研究員1名を中心に運営される。

*個々の研修事業の実施に関しては、長野県教育委員会等の研修担当者等との連携体制の中で進めていく。

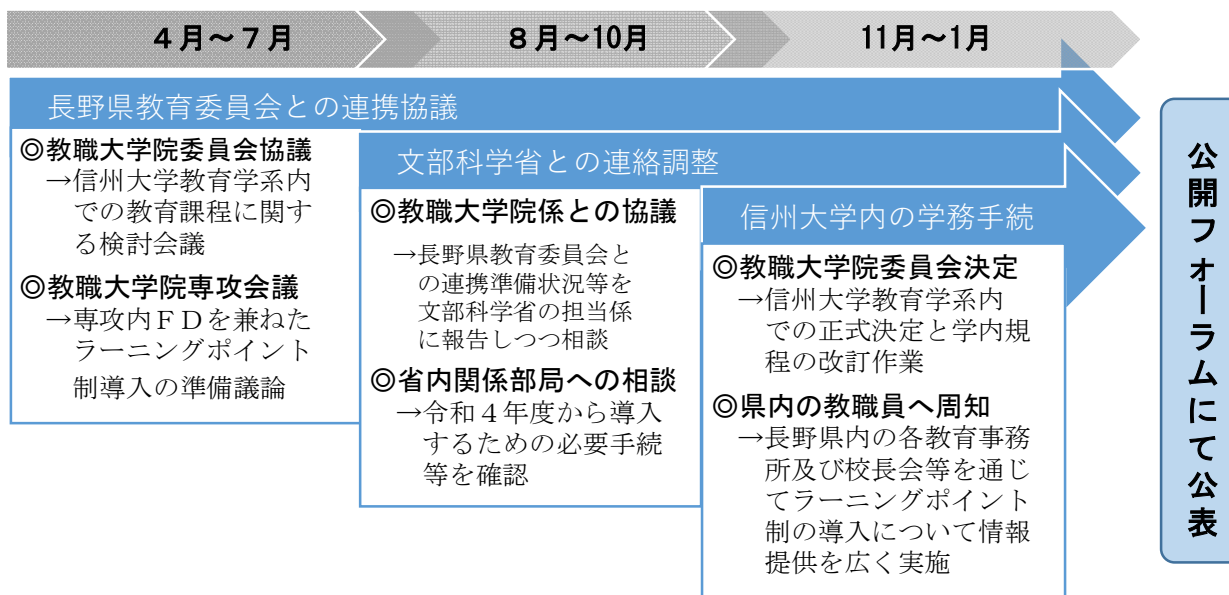
- センター長 宮崎樹夫（信州大学大学院教育学研究科長）
- 副センター長 伏木久始（教職大学院専攻長）

4 令和3年度事業計画の詳細

(1) 実施内容・方法

No	実施内容	実施方法
1	中核教員養成研修（対象は長野県内15郡市から2名ずつ推薦されてくる中核教員＝計30名）	◆長野県教育委員会学びの改革支援課との共催事業 ①スタートアップ研修：「これからの学校におけるミドルリーダーシップ」（4/26）：講師2名 ②総合教育センターの希望研修受講 ③県外視察（7/1～7/2：大阪市立大空小学校／奈良女子大学附属小学校） ④学校づくりとカリキュラムマネジメント（7/30） ⑤学校づくり実践研修（月1回ずつのオンラインミーティングを含む） ⑥中間報告会（9/14）＝教職大学院からのサポート ⑦学びの改革フォーラム長野（1/28）での成果発表
2	総合的な学習の時間のマネジメント ～信州教育の原点から今を求めて～	◆長野県総合教育センターとの連携講座（6月7日） 講師：畔上一康（信州大学） 講義：信州教育に根ざした総合の理念と授業づくり 演習：実践記録を通しての語り合い
3	学校づくり・学級づくり ～チーム学校と新たな学級経営～	◆長野県総合教育センターとの連携講座（8月2日） 講師：青木一（信州大学） 講義：チーム学校と同僚性・協働体制づくり 講義：特別に支援が必要な子どもをつつむ学級経営
4	へき地・小規模校の教育実践 ～個別最適化を実現する授業づくり～	◆長野県総合教育センターとの連携講座（8月19日） 講師：伏木久始・宮島新（信州大学） 講義と演習：個別最適化を実現する授業づくり 演習：自由進度学習の単元づくり
5	小学校外国語指導者養成研修（英語デジタル教科書活用）	◆長野県教育委員会学びの改革支援課との共催事業 講師：酒井英樹（信州大学） 第1回講座（1学期）対面講習 第2回講座（2学期）オンライン講習
6	マイスター教員研修…50代以上のベテラン層対象の希望研修	◆長野県教育委員会学びの改革支援課との共催事業 講師：青木一（信州大学）ほか 自主研修…Nits研修ビデオ視聴
7	長野県義務教育校長悉皆研修における「リーダーシップ論」の特別講座	◆長野県総合教育センターとの連携講座（10月8-9日） *ユバスキュラ大学（フィンランド）の研究者とオンラインで連携する協働
8	子どもたちが通いたくなる学校とは（オンライン全7回連続セミナー）	◆長野県教育委員会が後援する協力事業 遠隔会議システム（ZOOM）を利用 コーディネーター：伏木久始・庄司和史（信州大学） （講師陣は人選中）
9	国際理解教育指導者養成講座	◆独自講座 会場：S-bird（8月10日） 講師：徳井厚子（信州大学） 講師：吉野康子（順天堂大学）
10	「自由進度学習の授業づくり」（学校現場への出前講座を含む）	◆独自講座 「個別最適な学び」の指導者養成講座 講師①：佐野亮子（東京学芸大学） 講師②：伏木久始（信州大学）
11	コミュニティ・スクールのコーディネーター養成講座（教員他地域コーディネーター候補者を対象とする）	◆市町村教育委員会および各コミュニティ・スクールからの要望に対応する講座 講師①：前川浩一（美麻コミュニティスクール） 講師②：塩原雅由（大町市教育委員会） 等
12	学校フィールドワーク実地研修 *令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のガイドラインに基づき限定的に実施	◆特色ある学校へのフィールドワーク（貸切バス） *富山市立堀川小学校 *大町市立美麻小中学校 *軽井沢風越学園 などが候補

【ラーニングポイント制導入の計画】



【南信州サテライトキャンパス開校準備】

令和4年度には長野県南信州エリアに教職大学院のサテライトキャンパスを開校する予定であるため、令和3年度はそれに向けた演習室等の準備も研修事業と並行して進める。なお、この教職大学院サテライトキャンパスでは、主に教職員支援機構・信州大学センターの主催行事である研修講座を中心に実施することになる。

(2) 期待される成果と評価方法

各講座ごとに受講者対象の満足度調査を実施するとともに、各年度3月に「信州大学センター公開フォーラム」を開催し、本事業の成果と課題に関する自己点検評価結果の公表と、ステークホルダーからの外部評価を公開の場で共有し合う。こうした評価方法により得られたデータ、特に改善点を次年度の事業計画に生かしていく。

なお、本事業の学部評価者として以下の担当責任者に依頼する。

【外部評価者】①長野県教育委員会、②長野県総合教育センター、③市町村教育委員会の代表、④信濃教育会、その他関係機関（必要に応じて客観的な立場から評価を依頼する）